

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域資源論				谷口 知弘	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	2 年次	講義	無	科目等履修 ・ 聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>20世紀に構築された大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済システムは、経済成長を成し遂げ物質的な豊かさを生み出す一方、天然資源の枯渇や環境破壊等、地球規模での持続可能性の危機を招きつつある。日本においては先述の危機に加え、少子高齢や人口減少、東京一極集中、地方と大都市の経済格差、世代間格差など重大な問題に直面している。</p> <p>地域資源論では、これらの問題解決のための理論と手法について地域資源を活用した地域づくりに焦点を当て講究する。持続可能な地域社会を実現するための地域資源の保全や活用について事例を通して学び、その重要性や可能性について理解を深めるとともに、施策や事業を企画する理論と手法を身につける。</p> <p>尚、授業の進め方として、地域資源の保全・活用の最前線で活躍する方々をゲストに招き、実践者との対話から検討するとともに、先進事例に関する受講者の報告をもとに討論する時間を設けることとする。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>①地域資源を活かした持続可能な地域づくりの理論と手法を理解する。          ②京都市北部地域における地域資源の特性について理解する。          ③地域資源の保全と活用の施策や事業を企画する際に必要な理論と手法を身につける。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	導入：本講義の進め方と地域資源論の全体像 ワークショップ：地域社会の魅力と課題を語ろう				
第 2 回	第1部：地域資源を理解するための理論 ①地域資源の分類と地域社会				
第 3 回	" ②内発的発展論				
第 4 回	" ③地元学				
第 5 回	第2部：地域資源活用の実践と手法 ①文化的資源の活用1-歴史的資源と観光 (文化的景観、郷土芸能)				
第 6 回	" ②文化的資源の活用2-社会的資源と住民自治 (ソーシャル・キャピタル)				
第 7 回	" ③自然資源の活用1-地域の自然エネルギー活用				
第 8 回	" ④自然資源の活用2-森・里・川・海の つながりを活かした事業				
第 9 回	" ⑤人的資源の活用-高齢者や主婦の知恵と経験を 活かした事業				
第 10 回	" ⑥特産的資源の活用-山や海の恵みを 活かした事業				
第 11 回	第3部：先進事例の報告と討論 ①観光・交流				
第 12 回	" ②福祉・地域づくり				
第 13 回	" ③移住・雇用促進				
第 14 回	" ④農・食・アート				
第 15 回	まとめ：埋れし地域資源を社会とつなぐ ワークショップ：活用のアイデアを語ろう				

授業時間外学習 (Supplementary Activities)	
①第1部、第2部は、講義のテーマに関して事前に理論や実践事例、手法などを調べておくこと。 ②第3部は、個人またはグループで分担して先進事例の報告を行うため報告の準備をしておくこと。	
成績評価の方法と基準 (Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
クラスへの貢献 (50%) 期末レポート (50%)	秀：適切な課題を設定し、独創的且つ実現性の高い課題解決策を提示できている。 優：適切な課題を設定し、すぐれた課題解決策を提示できている。 良：課題を設定し、一応の課題解決策を提示できている 可：課題設定と解決策の提示が、いずれも最低限の水準を満たしている。 不可：課題設定や解決策の提示が水準に達していない。
テキスト (Textbook)	特になし
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	講義で配布するレジュメで指示する
備考 (Other Information)	・3分の1以上 (6回以上) の欠席は、単位不可とする
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	taniguchi-tomohiro@fukuchiyama.ac.jp (谷口)